

---

○議長（斉藤 重君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前 1時32分）

---

◎議案第47号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（斉藤 重君） 日程第4、議案第47号 平成24年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第47号は、平成24年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。

詳細は担当課長をして説明します。

（健康福祉課長 石田正志君 提案理由説明）

○議長（斉藤 重君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○7番（関 唯彦君） 非常にこれを見ると危機感を感じるんですけども、23年度も悪かったですけれども、今年度は収入がなかったり減ってきていますよね。もう何と言うんですかね。今年度に入って極端に低所得者・・・、国民健康保険に入っている人はわずか20人くらいしか下がっていないんですけども、それにしてもものすごい保険税が激減しているということ、それをものすごく心配しているんですよ。3000万円どうしても基金は入れなければならぬんですけども、あと残りが2000万円しかないと思うんですけど、その辺で町として、これは今年度どういうふうに、この補正からみて考えているのか、その辺をちょっと聞かせていただけますかね。

○健康福祉課長（石田正志君） 今のご指摘は本当に我われも危機感を感じております。23年度に税率改正をして若干上げさせてもらったわけですけども、23年度はなんとかもったわけです。

23年度決算で繰越金が若干3000万円くらい減っているということもございますけれど、それが療養給付費の負担金とか、あるいは共同事業、高額とか、30万円以下の・・・、拠出金と交付金とのバランスで拠出が多かったというようなこともあると思います。その辺が影響しているとは思いますが、現状ですと正直言って、3月から6月の状況をみますとやはり医療費

が伸びておりまして、予算に対してやはり見込みより多くなっています。現状でも総額で1000万円くらい厳しいというような状況で、このままいくのかどうかはわかりませんが、とりあえず12月の給付費の状況を見て、また補正、基金の取崩しですか、場合によってはまたさらに必要が生じてくると思います。

なんとか24年度は基金の範囲内でやり繰りしたいというのが、これは希望なんです、来年度以降につきましては、どうするかということとその時期になりましたら当然町長、副町長を交えて検討しなければならない大きな課題じゃないかと考えております。

基本的には、加入者が半分弱です、やはり独立採算というのが原則ですから、その辺は基本的にはそういったところに立ってやるべきではないかと考えております。

○町長（齋藤文彦君） これは本当に関議員が言ったとおり、繰越金が赤字を調整しているような感じで、基金の方も2000万円しかないわけで、23年度に保険料を上げたばかりで、また上げるというのはなかなか厳しいところがありまして、あとは本当に税を上げるか、一般会計からというようなことですが、国民健康保険の人はやっぱり世帯数の半分くらいなものですから、一般会計からは難しいなということで、あとは、徴収を徹底してやるしかないなと、未納者の方の徴収を徹底してやるほかないなということで、いまやっているわけですが、どうしても払えない方が非常に多いというようなことで、関議員のように非常に危惧しているところがございます。

○7番（関 唯彦君） 本当に、65歳以上から74歳までの前期高齢者の交付金、これは減額になっていますよね。ですから、65歳以上の人たちの医療関係と言うか、その方よりもそれより低い方が給付の方が増えているのか、その辺を教えてくださいということと、それから、全体的に低所得者というか、そういう人たちがものすごく増えているんだと思うんですよ。保険税を上げてそういう人たちが増えれば、これはおのずと苦しくなるんだと思うんですけども、本当に抜本的になにか考えていかなければ、本当に、ぼくなんか思うのは、ものすごい危機感を感じているんですけど、その辺をもう一度お願いします。

○健康福祉課長（石田正志君） 今年度の給付費の状況ですけど、年齢というより入院がだいぶ傾向として増えているようでございます。

それから、軽減の状況でございますが、軽減が当初見込んでいた数字よりもやはり全体として7割で大体一般退職で22くらい増えています。それで、5割ですと18、2割が3、そのようなやはり増加傾向にあると思います。

ちなみに、23の本算定の時の比較、軽減世帯の状況を申し上げますと、23と24の差ですけれど

ど、7割軽減が一般退職を入れますと35増えています。そして、5割軽減で13、2割軽減で7というやはり増加傾向にあります。

○議長（斉藤 重君） ほかにございませんか。

○10番（鈴木源一郎君） 会計は、なかなか厳しいようですけれども、一方、被保険者の我われもなかなかいろいろな加重負担があるのをこの間実感したんですが、保険証が来て、私の場合でも3割の自己負担というふうになったということで、どういうわけかと、たいして収入が増えたわけではないけれど、3割にといたら、なんか、議員のいろんななんか掛金が減ったということから、収入が増えたことになるから、3割になったんですよという説明を当局から受けたんですよ。

3割自己負担の人というのは、かなりあるんですか。なんか150万円の収入を超えともう3割だということになるんだという話を聞いたんですがね。結構その部率が多いのですか。非常に重いよね。

○健康福祉課長（石田正志君） いま鈴木さんをご自分のことをおっしゃられたんですが、鈴木さんの場合は、後期高齢の保険証だと思いますが、後期につきましても一般的に1割ですけれども、3割ということになりますと、やはり一定以上ということで、所得がどうしても多い方で。

ちなみに、後期の時に言えばいいんでしょうけれども、一応ついでですから言わせていただきますが、後期の3割負担の方は50名です。後期の方の3割負担、今年度は。以上です。

○議長（斉藤 重君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（斉藤 重君） 質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（斉藤 重君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（斉藤 重君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斉藤 重君) 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。

これより議案第47号 平成24年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についての件を挙手により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長(斉藤 重君) 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

午後1時まで休憩いたします。

(午前11時54分)

---